



都城市の花「あやめ」 発行：都城市教育委員会「都城市教育研究所」

〒885-8555 都城市姫城町6街区21号都城市庁舎南別館3階



巻頭言 ことばの力



都城市教育委員会
教育部長 黒木有美子

教育部長を拝命して4か月が経ちました。喜びや感動に心震わせたり、悲しみや悔しさに打ちひしがれたり等々、ジェットコースターのような毎日ではありますが、充実した日々を過ごさせていただいております。

教育委員会での私の業務は失敗からスタートしました。年度はじめの教育委員との対面式では、緊張のあまり、自己紹介で「福祉部長の…」と前職名を名乗るといふ大失態！場の雰囲気が妙な空気になったのはわかったのですが、なぜなのかがわからず、児玉教育長の優しいフォローにより、ようやく自身の失敗に気付いて悲鳴を上げてしまったのでした。その光景は目に焼き付いており、今でも嫌な汗が出ます。

このような失敗があった時、どのように考えるかといえます。「ちょうど良かった」と唱えるようにしています。困難な状況になったり問題が発覚したりした時など、不都合な出来事が起これば混乱し、苛立ったり嘆いたり外部に原因を探したりして、周りを嫌な雰囲気にさせることもあるかもしれません。

しかし、「ちょうど良かった」という言葉は、その思考を楽観的な方向へ転換させてくれます。いくら慎重に進めても、仕事ではミスやアクシデントは起こるもの。その時、この魔法のフレーズで自分自身を立て直すことができるのです。



今回の失敗では「緊張した雰囲気を和らげることができた」「私のことを印象付けられた」と考えました。この失敗が話すきっかけになった人もおりますし、ネタとしても色々な場で使わせていただきました。失敗からは次への教訓を学び、批判からは新しい意見を得られるものです。(単に歳を取って図太くなっただけだろう、との声も聞こえてきそうですが…)

さて、新年度は色々な場面であいさつをする機会をいただきます。各担当から原稿をもらい暗記して、会場全体を見渡しながら話したいと思いつつも、なかなか思い描いたとおりにはいかないものです。

そんな時、参考にするのが学校の先生方、指導主事や教員OB等皆様の話す姿です。人前で話す機会が多く、場数を踏んでおられるのでしょうか、話に聞き入ってしまうのです。更にことばのチョイスにも耳をそばだてています。都城市では庁内で「Chat GPT」を活用し、あいさつ文の作成が可能ですが、どうしたら話を聞いてもらえるのか、どうしたら相手の心を動かせるのか、教育委員会での日々で模索している最中です。

ここで、僭越ではありますが、私のあいさつやスピーチのバイブルでもあり、何度読んでも感動で涙する1冊を紹介させていただきます。『本日は、お日柄もよく』(原田マハ著)です。この小説を読むと、ことばの持つ力に励まされ、元気をもらえます。人前で話すことが苦手な人、もっとうまく気持ちを伝えたいという人には、お勧めの1冊です。

教育研究所の研究員の先生方におかれましては、日々の業務に加え、月2回の研究会を重ね、研究論文の執筆・発表までの御努力に頭が下がる思いです。この成果が都城市の子ども達に届きますよう私もしっかりと業務を遂行してまいります。

共に頑張りましょう。
ことばの力を信じて。



このような学習が進めば、子どもたちの姿も大きく変わってくるだろう。
例えば、国語科で、「この単元では、登場人物のそれぞれの生き方や考え方が、主人公の成長にどう関わったかについてグループで話し合い、端末の書込みをもとにした意見の交流が見られた。子どもたちの学びの成長に驚いた。」などと、脇役に徹した教師の微笑む姿も目に浮かぶ。まさしく、「一人一台端末の環境」での学習だからこそ、「子どもたちが主役の授業」が可能となる。

所員研究会では、八月から第二クールに入り、研究授業を計画・実施して所員同士で、何度も何度も学習活動を議論することになるだろう。ぎりぎりまで費やし、最適な学習展開や思考ツール等を考えることになる。そして、十二月からは、第三クールに入り、いよいよまとめの時を迎える。研究所員もその頃には、学習活動の一つ一つを思い出せば、胸が熱くなるだろう。「単元縦断型や教科横断型の学習過程の特色は何ですか?」と質問されれば、思わず、「全てです。」と答えるのではないだろうか。

「子どもたちが主役の授業」
所長 曽原良平

この原稿を書いている暑い暑い本格的な夏、七月、私たち教育研究所は、第一クールのまとめの時期を迎えている。協議の中心は、本年度に取り組む「子どもたちが主役の授業」で目指す「単元縦断型×教科横断型」の研究についてだ。実際の授業を意識して、主題設定の理由と構想図をまとめようと、毎回各自が持ち寄りレポートをもとにして協議を重ねている。しかし、簡単にまとまりそうもない。研究所員のお互いの理解の上にとどめることが必要だからだ。

ところで、一人一台端末の授業が始まって三年目を迎えた。その活用は図られてきているが、「子どもたちが主役の授業」を創るためには、これまでの授業スタイルを更に大きく変えなければならぬ。ポイントには、学校教育課が示す「教師が脇役に徹する、先を読む、微細な変化に気付く」の頭文字をとった「わ・さ・さ・び」の授業だろう。きつこの二、三年の内どの学校も「子どもたちが主役の授業」が見られるようになることだろう。教科書も翌年度が小学校、翌々年度が中学校と新しくなり、子どもが主役となる学習展開が示されることも期待される。

I 研究主題

子どもたちの未来に向かい、学ぶ意欲を高め、確かな学力の向上を目指す授業の創造
～ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びの工夫～

II 主題設定の理由

情報化やグローバル化の「Society5.0」の時代の到来、新型コロナウイルスの感染拡大など先行き不透明で予測困難な急激に変化する時代の中で、一人一人の児童生徒が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら、様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り開き、持続可能な社会の創り手となることが求められている。

このような中、令和3年1月の中央教育審議会答申において、個に応じた指導を一層重視し、指導方法や指導体制の工夫改善を行い、GIGAスクール構想の実現によるICT環境の活用、及び少人数によるきめ細やかな指導体制の整備、「主体的・対話的で深い学び」を実現していくことが提言された。

本研究においては、昨年度から3か年計画で「学ぶ意欲」、「主体的・対話的で深い学び」、「個別最適な学び」、「協働的な学び」をキーワードに、授業改善や学習指導の在り方を究明する研究に取り組んでいる。

今年度は、単元縦断×教科横断を意識した授業づくりの視点を取り入れた研究を具体的に進めることによって主題に迫るとともに、都城学校教育ビジョンの具現化につなげようと考えた。

III 目指す児童生徒像

「わかる」「できる」喜びを実感するとともに、学びを生活に生かそうとする児童生徒

IV 研究の目的

1 「学ぶ意欲を高める」ために

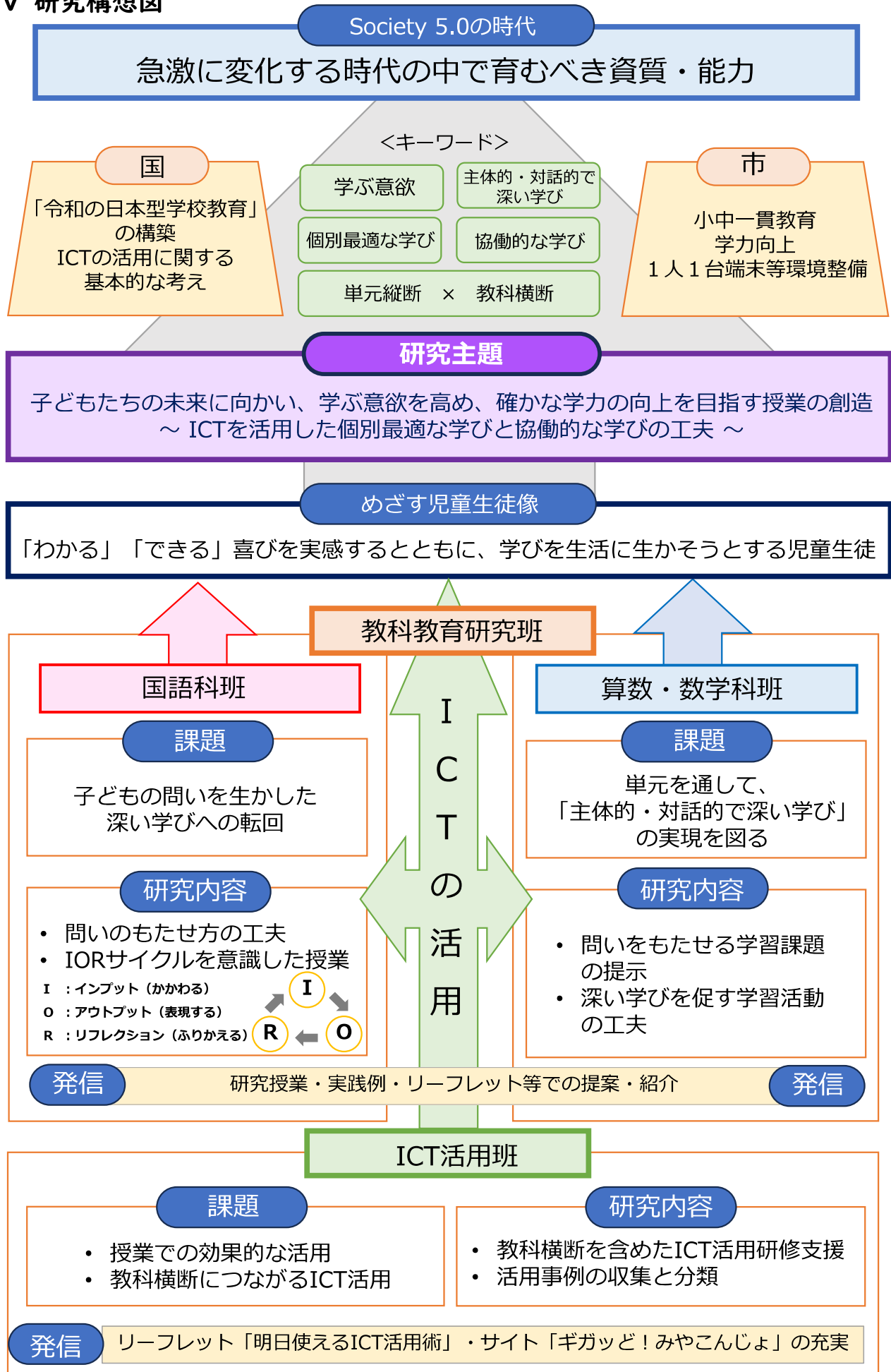
国語科は問いをもたせ方の工夫、算数・数学科は深い学びを促す学習方法の工夫を手立てとして、授業実践研究を進めることによって目指す児童生徒像である「わかる」「できる」喜びを実感させたい。それが、新たな学びのきっかけとなり、学ぶ意欲を高めることにつながると考える。

2 「確かな学力の向上」ために

国語科では、昨年度から引続きIOR学びのサイクルモデルをベースとして単元縦断の考えを意識しながら子どもの問いを生かした深い学びにつなげること、算数・数学科では、導入場面で問いをもたせるための課題（単元の課題）を提示することで単元縦断の考えを意識し、知識構成型ジグソー法や思考ツールを活用しながら「主体的・対話的で深い学び」の実現をねらうことで、児童生徒像にある「学びを生活に生かそうとする」姿に迫っていきたい。また、教科横断につながるICT活用の在り方について明らかにし、他の単元や他教科でも活用できる基礎的な力を引き上げていくことにつながると考える。

1・2においてICT活用の視点も導入し、目的に応じた1人1台端末の利活用についても模索する。また、子どもが主役の授業を目指し、都城市の「わ」「さ」「び」の視点も取り入れて研究を進める。

V 研究構想図



所員紹介



☆ 都城市教育研究所 所長
☆ 学校教育課担当指導主事

曾原 良平
黒田 勝彦 古田 健一



主任



原 圭史 <南小学校> (ICT活用班)

- 担当：教務主任
 - 趣味：今は写真かな・・・
 - 休日：野菜づくり
- ～ひとこと～ 今年も楽しく頑張ります。

国語科班



向井 永吉
<丸野小>

- 担当学年：2年
- 趣味：お酒
- 休日：家事、家事、家事、... 家族と遊ぶ

～ひとこと～
仕事と家庭の両立をしながら、楽しくがんばります。よろしくお願ひいたします。



矢野 善隆
<高崎中>

- 担当学年：3年
- 趣味：書道
- 休日：家族で遊ぶ

～ひとこと～
いろいろな先生方と交流しながら学べる機会をいただいたことに感謝して、頑張ります。



赤木 惇一
<山之口小>

- 担当学年：1年
- 趣味：野球
- 休日：ドライブ

～ひとこと～
貴重な学びの機会をいただき、うれしく思います。よろしくお願ひいたします。



浜松 泰光
<祝吉中>

- 担当学年：3年
- 趣味：キャンプ
- 休日：サッカー

～ひとこと～
授業づくりについて学んだことを生徒に還元できるように一生懸命に頑張ります。

算数・数学科班



本園 理子
<白雲小中>

- 担当学年：1～3年
- 趣味：DIY
- 休日：ショッピング

～ひとこと～
所員の皆様と協力しながら、都城市の先生方のためになるような研究ができるよう頑張ります。



大迫 伸
<祝吉小>

- 担当学年：6年
- 趣味：旅行 サッカー
- 休日：妻と娘とおでかけ

～ひとこと～
先生方との研究会が大きな学びです。都城市の子どもたちのためになる研究を頑張ります。



井手 省吾
<西小>

- 担当学年：6年
- 趣味：ラグビー
- 休日：家族で散歩、公園

～ひとこと～
素晴らしい先生方と一緒に勉強させて頂く事ができ、嬉しく思います。よろしくお願ひいたします。



森 瑞樹
<妻ヶ丘中>

- 担当学年：1年
- 趣味：温泉・旅行
- 休日：部活動&審判(剣道)

～ひとこと～
学ぶ機会を与えていただき感謝しています。都城市の児童生徒のため&自身のために頑張ります！

ICT活用班



山田 駿
<明道小>

- 担当学年：5年
- 趣味：音楽
- 休日：バンド

～ひとこと～
多くの先生方から学び、自分にできることを最大限引っ張り出して、少しでも貢献できればと思います！



白尾 佳資
<西中>

- 担当学年：3年
- 趣味：野球
- 休日：飲み

～ひとこと～
先生方と考えを出し合い、都城市のために貢献できればと思います！



萩原 慶季
<東小>

- 担当学年：4年
- 趣味：バスケット
- 休日：映画鑑賞
ドライブ

～ひとこと～
「挑戦する研究所」の目標の下、一生懸命頑張ります。よろしくお願ひします。